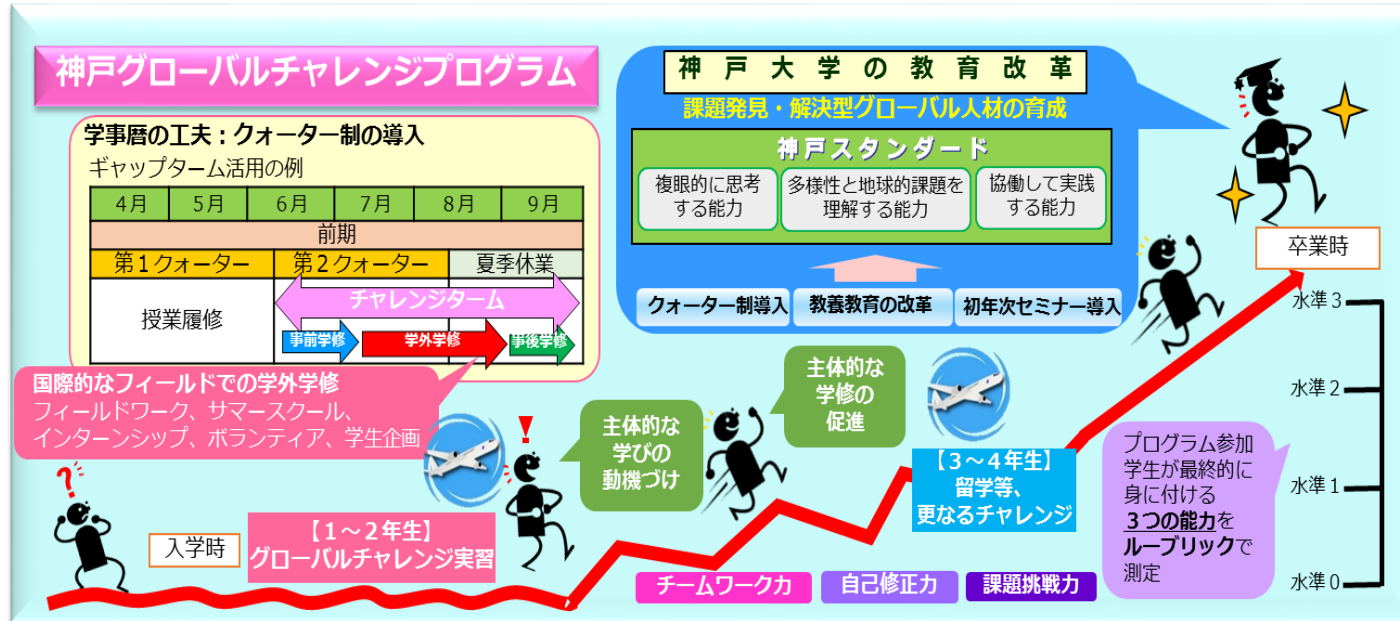


大学等名：神戸大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

「神戸グローバルチャレンジプログラム」は、1・2年生の1つのクォーターをギャップタームとして設定し、この期間に学生が国際的なフィールドで行う自主的な活動を正課のプログラムとして単位認定する取組である。平成28年4月から全学でクォーター制を導入することで可能となるギャップターム（「チャレンジターム」）の期間中に、学生が国際的なフィールドにおいて多種多様な学外学修に取り組むプログラムを、全学的に開発する。本取組として認められた学外学修は、「グローバルチャレンジ実習」として単位認定し、平成28年度からの新たな教養教育のカリキュラムへ体系的に組み込む。プログラム参加学生は「神戸スタンダード」が掲げる能力の必要性を体感し、「学びとは何か」を主体的に考え「学びの動機づけ」を得ることができる。本プログラムの実施により、課題発見・解決型グローバル人材の育成に向けた教育改革を加速させる。



【事業の成果】	H27年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	—	2.53%	1.19%
学生の授業外学修時間	—	6.5時間	9.7時間
学生が企画する活動数	37件	150件	152件

本プログラムによる効果

- 1・2年生を対象とすることによる学びの動機づけ
- 学生の主体的な学修の促進
- 国際的なフィールドでの更なる活動にチャレンジする精神を育成
- 英語力の向上
- 学修成果を把握することによる新たな学修プログラムの開発